

いわての看護

いわての
ナースセンター 76号
だより



特集

看護の日・看護週間 ～看護の心をみんなの心に～



御所湖広域公園

読者
アンケート



令和4年度
岩手県看護協会会員数の動向

保	助	看	准看	計
305人	321人	6,777人	142人	7,545人

令和4年度 災害支援ナース登録者
99人

令和4年7月14日現在

会長就任のあいさつ

令和4年度岩手県看護協会通常総会、改選役員選挙におきまして会長に信任いただきました相馬でございます。会長という大役を担うことになりましたが、新役員体制の下、当協会職員、一丸となり事業の推進に努めてまいりたいと思っております。

会員の皆様方には、これまでと変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いたします。

さて、当協会では、日本看護協会の重点政策・重点事業と連動し、今年度は6項目を重点事業としました。その1つに「健康と療養を支える地域包括ケアの推進」を挙げております。

医療の現場は、地域包括ケアシステムの構築に向けて、従来の「病院完結型」から「地域完結型」へ移行しています。これに伴い、看護の役割も拡大され「医療」と「生活」の両方の視点から療養支援や健康の維持・増進を図るなど、「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ切れ目ない看護が必要となります。今後

公益社団法人岩手県看護協会
会長 相馬 一二三



は、全世代を対象とした多様なニーズに応じた支援ができるよう、多職種との連携強化や人材確保・人材育成、そして、働く環境の改善に取り組んでまいりたいと思っております。

また、日本看護協会では、看護職の専門性に資するタスク・シフト/シェアのガイドライン及び活用ガイドを公表しました。県内には、多くの病院があり、その役割・機能が分化されています。ガイドラインを基に、自施設の実情に照らし合わせながら、創意工夫していただくことも必要だと考えております。

看護職の課題が山積しておりますが、会員の皆様方の声を大切にしながら、課題解決に向けてともに取り組んでまいりたいと思っております。

最後になりましたが、会員の皆様方のご健康とご活躍を祈念いたしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

受賞報告

令和4年度県勢功労者表彰を受章して



佐々木 典子

コロナ禍が続く中、最前線で職務に精励されている会員の皆様に心から敬意を表します。

この度の私の受章に際し、皆様方から温かな祝意を頂戴し厚く御礼を申し上げますと共に多年にわたるご支援に深く感謝申し上げます。

この顕彰は私個人にではなく、何時の時代にも、どのような状況にあっても、人々の掛け替えのない命と健康の守り手である全ての看護職への功労とエールと思って、代表してお受けいたしました。

少子高齢社会の進展、激しく変化する社会情勢の中で看護の役割が確実に拡大し、看護職への評価や期待が高まっております。これからも看護の普遍的な価値を見失わずに看護の力が発揮され続ける事と、看護職の働く環境が整備されていく事を切に願っております。

岩手県看護協会の一層の充実発展と、会員の皆様のご健康とご多幸、そしてご活躍を祈念いたしております。

※県勢功労者受章祝賀会は今般の事情を鑑み、開催致しませんのでご了承ください。尚、次号の「いわての看護」にお祝いの特集記事を掲載予定です。

日本看護協会会長表彰を受賞して



松本 知子

このたび、岩手県看護協会からの推薦により日本看護協会会長表彰を受賞いたしました。会長はじめ協会役員のお力添えの賜物と心より感謝申し上げます。

協会活動は、準備委員から始まり、看護制度検討委員では街頭署名活動も経験しました。平成25年からは常務理事を6年務め、その中で、認定看護管理者教育課程サードレベルの立ち上げ、新卒・新任訪問看護師育成プログラムの作成、第50回日本看護学会学術集会開催等、貴重な経験をさせていただきました。多方面の方々にご指導いただき、会員皆様のご支援ご協力のもと実施できたと改めて深く感謝しております。

今後も、協会事業には微力ながら協力していきたいと思っております。

令和4年度(公社)岩手県看護協会役員紹介

副会長／千葉 澄子

国民の命を守る看護職が元気に働ける社会実現のため、会長を補佐し職務を全うしてまいりたいと思います。



副会長／佐藤 悦子

「万里一空」の境地で邁進いたします。



専務理事／高橋 弥栄子

新会長のもと、皆様と協力し看護協会事業に真摯に取り組んでまいります。



常務理事／後藤 富美子

組織作りは人作り。会員皆様の要望にお応えできるよう努力いたします。



常務理事／千葉 香

新任理事として、皆様と協力し、協会活動に取り組んでまいります。



書記理事／藤代 美智子

2年目となります。昨年度に引き続きご指導よろしくお願いいたします。



書記理事／富岡 幸子

皆様からのご指導をよろしくお願いいたします。



会計理事／千葉 るり子

対面での情報交換ができるまで、今できることを大切に進んでいきたいと思ひます。



会計理事／佐々木 真紀子

皆様からご指導うけながら、新任会計理事として努力してまいります。



保健師職能理事／後藤 未央子

2期目となります。看護の諸課題に真摯に取り組んでまいります。



助産師職能理事／蛸嶋 奈津子

助産師の役割発揮と自律した助産実践の推進に努めてまいります。



看護師職能理事Ⅰ／千葉 真理子

新任です。ご指導を賜りながら事業運営に尽力してまいります。



看護師職能理事Ⅱ／井上 和子

医療と生活の場をつなぐ看護職の役割の発揮に向け、頑張ります。



准看護師理事／柏倉 勝子

皆様にご指導いただきながら、役割を理解して活動出来るよう取り組んでまいります。



盛岡地区理事／藤根 美知子

地域連携を推進し、看護が持つ力を最大限発揮できるように努めます。



花巻地区理事／工藤 直人

支部役員力を結集し、地域に貢献できるよう努めてまいります。



北上地区理事／高橋 美枝子

看護職の方が生きいきと働けるよう、活動していきたいと思ひます。



奥州地区理事／菅原 宏則

昨年度は感染症対策と看護協会活動の在り方について苦慮しながらの活動となりましたが、今年度は今までの経験を活かし活動を進めていきます。



一関地区理事／船山 陽子

役員一同力を合わせて取り組んでいきます。よろしくお願いいたします。



大船渡地区理事／高橋 美保

支部役員と協力し、元気に楽しく支部活動に取り組んでまいります。



釜石地区理事／桑畑 久美子

釜石支部の皆様と協力し合い、楽しい活動になるよう頑張ります。



宮古地区理事／五十嵐 由香利

地域で活躍している皆さんと交流を図り明るく活動してまいります。



久慈地区理事／日當 守子

久慈地区理事の日當です。2年目ですが「ひよっこ」です。よろしくお願いいたします。



二戸地区理事／坂野上 裕子

役員一同支部活動に努め、地域の連携に取り組んでまいります。



監事／北村 和子

本会の目的を達成するための事業の執行状況を監査します。



監事／小笠原 一行

今年度もやります。頭を柔らかく役割を務めたいと思ひます。



よろしくお願いいたします



令和4年度岩手県看護協会 通常総会を終えて

(前) 副会長 奥寺 三枝子

令和4年度岩手県看護協会通常総会を新型コロナウイルス感染防止の観点から今年度も規模を縮小し、6月18日(土)に6,007名(出席者210名、委任状5,797名)の参加の下に岩手県民会館中ホールで開催しました。

及川吏智子会長から、新型コロナウイルスの感染拡大が長期化する厳しい状況の中、使命感をもって尽力している看護職の皆様に対する敬意と感謝の言葉があり、このような状況下でも令和3年度の事業は概ね実施できたこと、今後は、「看護の将来ビジョン～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」の実現、さらに2040年を見据えた看護の方向性・役割発揮に向けた取り組みの必要性、令和4年度の重点事業とタスク・シフト/シェアの推進をすすめる事、更に組織強化に向けて加入促進に努め、支部・看護職間との連携を更に深め事業を充実させていくと挨拶がありました。

その後、物故会員への黙祷、議長団が選出され、第1号議案「公益社団法人岩手県看護協会名誉会員

の推薦」で平成22年度から27年度まで会長を務めた兼田昭子氏が名誉会員となられ、名誉会員証が贈呈されました。第2号議案「令和4年度改選役員及び推薦委員並びに令和5年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について」は、選挙により全ての改選役員候補者が当選しました。また、推薦委員並びに日本看護協会代議員及び予備代議員候補者が委任状を含め過半数の賛成を得て選出されました。報告事項では、「令和3年度事業報告」「令和4年度事業計画」「令和4年度資金収支予算及び収支予算」「令和5年度公益社団法人岩手県看護協会通常総会開催地」の4つが報告されました。

最後に新役員の紹介後、旧役員を代表して及川吏智子氏、新役員を代表して相馬一二三氏から挨拶があり、総会は定刻より少し早めに終了となりました。この総会での決議に基づき、令和4年度の事業が進められます。皆様の更なるご支援・ご協力をお願いいたします。

【役員を選定】

会 長	相 馬 一 二 三	助産師職能理事	蛎 崎 奈 津 子
副 会 長	千 葉 澄 子	看護師職能理事Ⅰ	千 葉 真 理 子
常 務 理 事	千 葉 香	看護師職能理事Ⅱ	井 上 和 子
書 記 理 事	富 岡 幸 子	准看護師理事	柏 倉 勝 子
会 計 理 事	佐々木 真紀子	花巻地区理事	工 藤 直 人
保健師職能理事	後 藤 未 央 子	釜石地区理事	桑 畑 久 美 子



令和4年度岩手県看護協会 職能合同集会

看護師職能副委員長Ⅱ 畠山 美由紀

日時：令和4年6月18日(土) 13:30～15:40

リレートーク「コロナ禍の2年を振り返り、看護職のCOVID-19対応と今後の課題」

演者：岩手県保健師長会	副会長	高橋真由美氏
盛岡赤十字病院	産科病棟師長	高村ゆりえ氏
岩手医科大学附属病院	感染管理認定看護師	近藤 啓子氏
鶯宿温泉病院	看護部長	中村 六子氏
岩手看護専門学校	本科教務主任	岩間亜由美氏
座長：岩手県看護協会	(前)副会長	奥寺三枝子氏

令和元年末に発生した新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界中の人々の日常生活を一変させ、岩手県でも令和2年7月の患者の発生報告後、相次ぐクラスターの発生や病床の逼迫など課題が山積みとなりました。そのような中、看護職はそれぞれの場所で人々に寄り添い、できることを考え対応し、今なおその渦中で役割発揮を継続しています。今年度の職能合同集会は、このコロナ禍の2年を振り返り、三職能が経験し感じたことや課題を語り合い、共有し、今後への示唆を得る機会となることを目的としてリレートークを開催しました。

演者の方からは、保健師の専門性を活かした保健活動の状況や、かけがえのない命を育み出産に臨む妊婦や家族の不安を理解した助産師によるサポート、県の組織であるICAT(いわて感染制御支援チーム)による現場支援の実際についてお話がありました。また、病院・施設からはクラスター対応から体得した感染対策と業務継続や職員のケアの重要性、教育領域からは、学内でシミュレーション機器を使用した演習を工夫

し、学生たちと共に乗り越えていること等が語られ、それぞれの経験から見えた課題も示していただきました。

講演後は、会場から寄せられた「感染対策として平時から心がけておくマネジメント」「精神的につらい時、どのように気持ちを切り替えていったか」について意見交換を行い、演者の皆さまからリフレッシュ方法などをお話いただく和やかな場面もありました。

当日は134名(保健師28名、助産師19名、看護師Ⅰ78名、看護師Ⅱ9名)の参加がありました。参加者からは、「さまざまな分野で活躍した方の話を聞くことができて良かった」「マネジメントについて具体的に学ぶことができた」「演者の飾らない本音が聞けて共感した」等の感想が聞かれました。三職能がそれぞれの立場から語ることの大切さについてもご意見をいただき、職能集会が有意義な時間であったことが伺えました。

未だ感染の終息は見えず、緊張の日々を過ごしていることと思います。それぞれの場で懸命に闘っているすべての看護職の皆様へ改めて感謝申し上げます。



訃報

岩手県看護協会の名誉会員である佐藤八重子様が令和4年5月3日にご逝去されました。

佐藤様は保健師職能理事、支部監事等、長きにわたり協会役員・委員を歴任され、住民の健康福祉の向上と看護協会発展に寄与されました。また、平成9年春には勲六等宝冠章を受章されました。

多年にわたり当協会の発展にご尽力いただきましたことに心より感謝申し上げます、謹んでご冥福をお祈りいたします。

令和4年度日本看護協会 通常総会

6月8日、幕張メッセで令和4年度日本看護協会通常総会が開催されました。新型コロナ対策により、規模縮小の上、2年ぶりに会場参加で開催されました。岩手県の代議員は7名ですが、3名が会場参加し、コロナ対応等により4名は事前提出していた議決権行使書で意思表示をしています。総会には750名の全代議員と一般会員171名の参加で、岩手県からの一般参加はありませんでした。

福井会長の挨拶では、政府による看護職の処遇改善策について「この機会を逃さず、全看護職の処遇の抜本的な改善へ、強く働きかけていく」との力強いメッセージがありました。また、ウクライナ侵攻に対して、世界看護師協会と連携し、皆様の協力により寄付したことなどが報告されました。

日本看護協会会長表彰では、表彰者は会場参集とはなりませんでしたが、当協会から松本知子氏（岩手看護専門学校）が受賞されています。おめでとうございます。

令和4年度改選役員及び推薦委員は、選挙により全員が承認され、地区理事として相馬一二三氏が承認されました。（選挙結果は、JNA ホームページを参照してください）

報告事項では、令和3年度事業報告等に続き、令和4年度の重点政策・重点事業等について説明がありました。4つの重点政策は、政策ごとに重点事業と

して3項目ずつ示され、令和4年度から3カ年をかけた取り組みこととなります。当協会も、この重点政策、重点事業を鑑みながら取り組む予定です。

重点政策

1. 前世代の健康を支える看護機能の強化
2. 専門職としてのキャリア継続の支援
3. 地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮
4. 地域の健康危機管理体制の構築

会場からも種々の質問・意見等があり、久しぶりに活発な意見交換ができたのではないかと感じました。令和5年度は、会員数増により代議員が1名増え8名となります。来年度も幕張メッセで開催する予定です。代議員とともに多くの一般参加があることを期待しております。

（専務理事 高橋 弥栄子）



全国保健師交流集会

全国保健師交流集会が2年ぶりに、幕張メッセ国際会議場で6月9日に開催されました。

鎌田久美子委員長は挨拶で、コロナ禍であらためて自治体保健師の果たす役割の重要性が認識されているが圧倒的に数が不足していること、新たな健康課題への対応が求められ活動が期待されていること、政府は地方財政対策において、保健所の保健師を令和3年から2年で約900人増員すること、今後、多職種連携による地域包括ケア推進の要として一層力を発揮して活動して欲しいと話されました。

井伊久美子副会長の基調講演では、「新たな健康課題と職能団体の役割」と題して、2040年問題、厚生科学研究での調査結果報告、これからの保健師教育を主旨としてお話がありました。

今後の新たな保健活動の展開に向けて、①人材確保 ②人材育成 ③統括保健師の配置 ④都道府県庁の

役割機能 ⑤統括保健師の位置づけ ⑥効果的な地区活動 ⑦地域の強みを生かした保健活動 ⑧保健師教育の拡充の8つの視点が必要であること、「保健師が保健師のために保健師の現実の課題に1つ1つ取り組むこと」と、力強いメッセージをいただきました。

シンポジウムでは「保健師のネットワークを強化する」をテーマに、青森、愛媛、鹿児島の各県保健師職能委員長から会員拡大に向けた取組が話題提供されました。3県ともに入会に係る状況分析や入会（非入会）理由・活動について保健師の声を聞く取組を行い、課題を明確化し対策を探っていることが話され、とても参考となりました。

なお、保健師・助産師・看護師I・II交流集会の様子は、キャリアースで8月31日までアーカイブ配信されております。是非、ご覧ください。

（保健師職能委員長 後藤 未央子）

全国助産師交流集会

今年度の全国助産師交流集会は幕張メッセで開催されました。新型コロナウイルス感染対策としてキャリナースを通じてのオンライン参加を併用したハイブリッド開催でした。

井本寛子委員長からの挨拶に続き、「時代の要請にこたえた実践を届けるためにはどうあるべきか」をテーマとするシンポジウムが開催されました。

日本赤十字看護大学大学院の井村真澄教授は「助産師に期待される役割発揮」と題し、行政の動きと助産師への要請について話されました。また、青森県看護協会の柁谷京子会長からは「青森県における母子のための地域包括ケアシステム推進に向けた取り

組み」として、2020年度に実施した調査に基づく取り組みの実際を、ウパウパハウス岡本助産院の岡本登美子院長からは「女性の生涯を通じたウイメンズヘルスケアの取り組み」として、熱い信念と素晴らしい行動力で展開されている数々の助産実践についてご紹介いただきました。

コロナ禍の社会は少子化を加速させ、課題の複雑化をもたらしました。社会の要請にこたえるために本県の課題解決に向けた方策について、再考する機会となりました。

(助産師職能委員長 蛎崎 奈津子)

全国看護師交流集会Ⅰ病院領域

全国看護師交流集会Ⅰが幕張メッセで467名が参加し開催されました。

看護師職能委員会Ⅰ委員長の森内みね子氏（日看協常任理事）より、2021年度活動報告及び2022年度活動方針の説明後、基調講演、シンポジウムが開催されました。

今年度のシンポジウムは「地域包括ケア推進に向けた各病床機能での看護～その人らしい生活を支えるために～」と題し、高度急性期、急性期、回復期、慢性期の4病院から興味深い発表がありました。発表で共通していた内容は、自病院の病床機能において看護の役割発揮にいかに取り組んでいるか、ということでした。また、急性期病院の春日部市立医療セ

ンターでは、近隣病院間で看護管理者会を発足させたことで、顔が見える関係性が構築され、コロナ禍であっても地域連携が推進されたという報告でした。当協会の支部活動においても、同様の取り組みが重要であると再認識することができました。

岩手県の病院領域は92施設ですが、看護職はじめ医療従事者の人材確保が難しい環境下でも、患者・家族の“その人らしい生活を支える”ためには、看護職の役割発揮が大きな力になることが、今回の交流集会で共有することができました。

規模縮小で開催されたにも関わらず、活発な意見交換がなされ、充実した交流集会となりました。

(専務理事 高橋 弥栄子)

全国看護師交流集会Ⅱ介護・福祉関係施設・在宅領域

交流集会の冒頭、田母神委員長から令和3年度の実施報告として2025年に向けた「訪問看護師倍増策の中間報告」「訪問看護総合支援センター設置」「訪問看護提供体制の強化」「看多機の普及及び設置促進」について報告がありました。

令和4年度重点事業計画では「訪問看護・看多機の提供体制強化に向けた取り組み」として、令和6年度の診療報酬・介護報酬同時改定に向けた訪問看護の実態把握、看多機の設置普及への委託事業などについて説明がありました。

2025年に向け更なる在宅医療等の推進を図るため、医師の判断を待たずに手順書により一定の診療の補助を行う看護師が必要となり「特定行為に係る看護師の研修制度」が施行されました。在宅・慢性

期領域のパッケージ研修では、自宅や施設等において日常的に質の高い特定行為が実施できるよう目指しているとのことでした。

ディスカッションでは、訪問看護・施設・看多機における特定行為の実際や受講時の苦勞、業務量増加と報酬評価の課題、施設長や管理者の理解など様々な課題が出されました。在宅・訪問看護は、“持てる力を生きる力に変えるケアの現場である”という言葉が心に残った交流会でした。

今後とも多職種との協働、包括的なアプローチを目指し地域医療を支えていきたいと思っております。今後看護職能Ⅱの活動に対する支援をお願いいたします。

(前 准看護師理事 中村 八百子)

災害における医療救護活動の協定締結について

近年、大規模災害が頻発化・激甚化しており、日本看護協会及び各都道府県の看護協会では、災害時に災害支援ナースを派遣し災害支援活動にあたっています。

実は、このような災害支援ナースの派遣に関して、本県を含む4つの県が「災害時の医療救護活動等の協力に関する協定」について、令和3年3月末時点で未締結の状況でした。当協会では、災害時の看護支援体制について見直しと検討が必要と訴え続け、災害支援ナースの安全を担保した活動が可能となるよう令和2年12月、岩手県保健福祉部に要望書を提出しています。

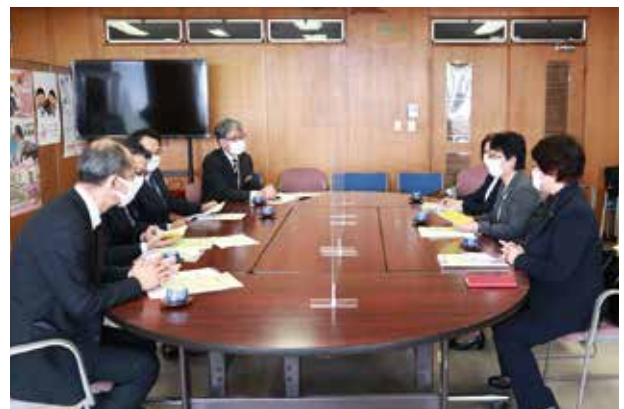
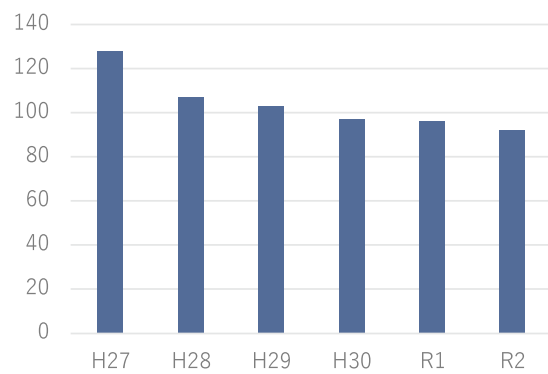
この度、この要望が叶い令和4年4月22日に県と「災害時の医療救護に関する協定」を締結するに至りました。この締結式は、メディアでも取り上げていただき、広く県民に周知される良い機会となりました。保健福祉部長の野原氏も、これまでの看護協会の活動等にはとても感謝していると話され、今後も共に協力して事業を行なっていきましょと、「グータッチ」を交わしました。



及川(前)会長と野原保健福祉部長

ついに
災害支援ナース派遣体制の
構築が実現しました!!

災害支援ナース登録者数(岩手県)



懇談

今後に向けて

本県では、東日本大震災の際に全国33の都道府県看護協会から延べ960人の派遣を受けていますが、他県への派遣実績はありません。これまで災害看護基礎研修、フォローアップ研修を開催し人材を育成してきましたが、「災害支援ナース」登録者は減少傾向です。勤務場所の異動により更新せずにいる方、基礎研修のみで次のステップへ進んでいない方、是非、登録・再学習をお願いします。

県のバックアップのもとに医療救護活動の安全保

障、身分保障が叶いましたので、支援を受けただけでなく他県への恩返しをしていきましょう。皆さんが、相互支援や危機管理活動の実際を視野に活躍いただくことを期待しております。

認定看護管理者教育課程セカンドレベルにおいても、有事の際の管理実践についてプログラムに組み込んでいます。看護管理者のマネジメントの重要性はコロナ禍でも学んだところです。

みなさん Let's Study ♥ & 実践!!

施設紹介

医療法人社団帰厚堂・社会福祉法人敬愛会 ケアセンター南昌

総看護師長 川戸 多喜子

ケアセンター南昌は、医療福祉多機能施設として平成25年2月に開設し、在宅系（訪問介護・訪問看護・入浴・訪問リハビリ）、入所系（介護老人保健施設・ショートステイ・グループホーム）、通所系（デイケア・デイサービス）など14の事業を提供しています。専門職種が、介護者や関係事業所など施設内外とも連携を図りながらサービスの提供に努めており、昨年度はIT化も進み、各事業所間での情報共有も可能となりました。介護老人保健施設博愛荘は、利用される方々の在宅復帰・在宅生活支援を目指し、医療、介護・看護、リハビリテーション、食事や排泄、入浴などの日常生活の支援を行っています。在宅復帰の取り組みとして、短期集中リハビリテーション、家屋訪問、生活場面での個別機能訓練、栄養管理と食事指導、口腔衛生を行っています。在宅復帰につなげるには、利用者の状態改善だけではなく、ご家族・関係事業所の協力が必要であり、少しでも長く在宅生活を送れるよう専門職種で連携しながら取り組んでいます。

また、当センターには、幼保連携型認定こども園が併設しており、各事業所の利用者と子供達との幼老交流を積極的に取り入れています。利用者からは優しさを、子供たちからは元気をプレゼント、そこには自然と笑顔が広がり貴重なひとときとなっています。これからも利用者及びご家族が安心して生活できる環境を提供していきたいと思っております。



多職種カンファレンス



幼老交流

医療法人社団松誠会 介護療養型老人保健施設 圭友

看護師長 西田 利子

当施設は、平成22年8月に長期療養病院より介護保険施設へ転換しました。介護老人保健施設の中でも医療度の高い利用者への対応が可能な施設を目指し、施設入所サービス提供に努めて今年で12年目になります。基本理念の「利用者様に対し、快適に療養生活が送れるよう環境を整え、24時間通じて安全で効果的かつ計画的な質の良い看護・介護サービスを提供します」と掲げ、入所定員183名に対し医師4名、薬剤師1名、看護師32名、介護福祉士51名、理学療法士4名、作業療法士2名、管理栄養士2名、介護支援相談員2名、介護支援専門員3名で利用者の自立支援、家庭復帰を目指し支援しています。また、医師による医学的管理や夜間でも安心できる体制を整えており、終末期ケアにも対応しています。当施設が地域の中核施設となるべく、居宅介護支援事業所、その他、保健医療福祉サービス提供者や関係市町村と綿密な連携を図り、地域において総合的サービス提供が受けられるよう努めています。

施設内は明るく広々とした空間で、ゆったりと過ごせる環境です。利用者一人ひとり、自分らしい日常生活が送れるよう支援していますが、今般の状況下、特別な場合を除いて家族面会はオンライン面会としています。感染予防対策として利用者及びご家族にもご協力いただいております。今後の感染状況を見ながら面会制限緩和を行ってまいります。

当施設に興味のある方、まずは見学にいらしてください。お待ちしております。



特集

令和4年度 「看護の日・看護週間」

5月14日(土) いわて県民情報交流センターアイーナ 7階・小田島組☆ほ〜るにおいて「看護の日」記念行事～看護の心をみんなの心に～が、171名の参加で開催されました。

イベントではオープニングセレモニーとして、フローレンス・ナイチンゲールの紹介や「忘れられない看護エピソード」の朗読が行われました。

看護の魅力～看護学生と現場で活躍するプロフェッショナルの紹介～として、第1部では現役の看護学生・看護師・助産師・保健師とIBC岩手放送アナウンサー 風見好栄さんを交え、志望の動機や仕事内容の紹介などメッセージをいただき、その後、高校生2名を迎えてのトークショーが行われました。高校生から、「今

後、看護の道に進むにはどのようなことを勉強したら良いか」「看護師をしていてやりがいを感じたことは？」などの質問に、看護学生や看護職が具体的に話され、とても有意義なトークショーとなりました。

トークショーに参加してくれた高校生2名（県立盛岡第二高等学校の吉田萌杏さん/盛岡誠桜高等学校の佐々木美羽さん）に記念行事が始まる前にお話を伺いました。

●看護師を目指したきっかけは？

吉田さん▶小学生の時に初めて手術で入院した。看護師という職業は知っていたが詳しくはわからなかった。入院した時、優しく接してくれた看護師のようになりたいと思った。



Q&A 高校生とのトークショーの様子紹介

高校生 「看護職になるため、今のうちからどんな準備が必要ですか」

(回答) 「看護の対象者は、色々な年代や生活背景があることから、学びを限定せず、日頃から、高齢者の方を含め色々な年代の方と接したり、生活体験や趣味も広げていくと良いですよ」

高校生 「看護職としてのやりがいは、どんなことですか」

(回答) 「患者様が心配している事が解決して喜んでもらえたり、病気が回復して退院していく姿に触れた時にやりがいを感じます」

高校生 「困難なことを乗り越えるためには、どんな方法がありますか」

(回答) 「美味しいものを食べたり、楽しいことをして、気分転換を図ることもその一つです」

高校生 「医療従事者を目指していますが、医師になるか、看護職になるか、まだ決めかねており、医師と看護職のそれぞれの魅力について教えてください」

(回答) 「医療現場では色々な職種が一緒に働いており、患者様の治療にかかわる上で、それぞれの役割が違います。どの職種が良いかは、これから、色々な場面で学んで、自身の職業選択につなげていって欲しいと思います」

参加者のアンケートを一部紹介

- 看護職になりたい気持ちが高まり、勉強するモチベーションが上がった。
- 自分の知らないナイチンゲールのことや、看護学生・看護師・保健師・助産師の話が聞けて良かった。
- 現役大学生から、看護体験などを沢山したという話があり、将来に向けて、自分もそうしたいと思った。
- インターネットやパンフレットでわからない看護職の本音を聞くことが出来て良かった。
- 人を支えられる看護師になりたいと思った
- 私も、お母さん方を支えられる助産師になりたいと思った。
- 看護職の働く現場が色々あることを知った。
- 看護職は、どれもやりがいのある良い職業なんだなぁと改めて感じた。
- 高校生のうちに出来ることが沢山あり、必ず将来に結びつくということを知り、様々な体験をしたいと思った。

～自分自身の進路選択につながる大切なことをつかんだことがわかりました～



～ 看護の心をみんなの心に ～

佐々木さん▶中学の時に手術のために初めて入院した。入院も手術も不安だったが優しく接してもらって安心することができた。

●将来看護師になったときには何科を希望しますか？

2人とも小児科希望！

吉田さん▶自分は小さい頃に大きな病気などしたことはないが、世の中には大きな病気を患っている子供もいる。そういう子供たちの力になりたいと思った。

佐々木さん▶自分の母親が小児科で働いていて、働く姿がかっこよかった。自分もそういう風に働きたいと思った。

第2部の講演は、県立宮古病院 感染管理認定看護師の吉川百合江さんから「認定看護師について」と題してビデオメッセージをいただき、コロナ禍での感染管理認定看護師の役割について具体的に教えていただきました。

今回の記念行事では、昨年よりも参加人数が増え、看護という仕事に関心があると実感することができました。

今回の記念行事やふれあい看護体験などを通し、「看護の道」を目指すきっかけとなり、いつか一緒に働ける日が来るのが今から楽しみです。

(広報出版委員 高橋 さおり)



看護の日

看護の心をみんなの心に

5月12日「PRバス・看護の出前授業」で看護の魅力を発信しました！

この企画は、2021年度から4カ年をかけ、全国4地区をPRバスが運行し、若年層に向けて“看護の仕事や魅力をアピールする”目的で行われています。

今回、北海道、青森県を経て、5月12日に盛岡市内を中心に下記の日程で「看護の日」をアピールしました。

● PRバス出発式 (県庁前広場)	11:00～11:45
● 看護の出前授業 盛岡市立上田中学校 (2年生124名)	13:25～14:15
盛岡誠桜高等学校 (看護系進学希望者24名)	15:00～16:00

県庁前広場での出発式では、今年の「看護の日」のイラストがラッピングされた大型バスを背景に、当協会(前)副会長の奥寺三枝子氏と保健福祉部長の野原勝氏からご挨拶をいただきました。その後、テープカットを行い、出発式参加の方々にバス内の見学や看護職へのメッセージをカードに記入していただきました。多数のメディア取材もあり、にぎやかな出発式となりました。

午後からは、盛岡市立上田中学校と盛岡誠桜高等学校で看護の出前授業を実施しました。

出前授業の内容は、看護職の理解から始まり、看護職になるための方法などについて説明しました。また、岩手県立中央病院看護師の宮澤香澄氏より、看護師として働く様子や社会人として生活を楽しんでいることについて、ビデオメッセージをいただきました。授業後半は、実際に聴診器やパルスオキシメーターを使用し、看護体験の時間としました。中学生からは、“大変な仕事だと思った喜びも多かった”などの声が聞かれました。また、高校生は、男女含め看護系への進学を希望している生徒たちであったため、真剣にメモを取る姿が印象的でした。

今後も、県民はもちろんのこと、中学生や高校生などの若年層の皆さんに看護の魅力を積極的に発信していきたいと思っております。

(専務理事 高橋 弥栄子)



特定行為看護師紹介

今回は岩手県立中部病院の認定看護師で、自治医科大学看護師特定行為研修センターで特定行為研修を修了されたお2人に、特定行為の実践やその成果などについてご紹介いただきます。

岩手県立中部病院
皮膚・排泄ケア認定看護師

千田 由美子

私は、当院で皮膚・排泄ケア認定看護師として創傷・ストーマ外来や、院内の褥瘡管理者として活動しております。今回は、「膀胱ろうカテーテルの交換」についてお話をさせていただきます。

膀胱瘻カテーテルの交換は、あらかじめ、手順書により膀胱ろうカテーテルの交換を指示されている患者を対象に行っています。外来では、対象患者の受付後、「膀胱ろうカテーテルの交換」をより早く対応できるのは医師なのか、私なのか、この時の両者の状況を外来スタッフが判断し、実践者が選択されます。自身が対応する場合は、カテーテルの構造など説明し、日常生活指導も併せて行います。特定行為は、認定看護師としても活動の場を広げ、さらに外来待ち時間の短縮などにもつながっています。

在宅訪問看護・指導で在宅など病院外での活動も行っていますが、通院困難となった場合は、訪問にて特定行為を実施するよう、あらかじめ指示されていることもあります。また、訪問看護師など地域医療従事者の方々からの依頼も受けています。特定行為は、自施設の医師やスタッフ、地域からも活動を認知され協力が得られていることなどが、地域活動においてももかかせません。

以前は、修了した特定行為は、自身が行わなければならないと件数にもこだわり活動していたこともありましたが、互いに連携・補完し合うことがタイムリーな医療提供につながり、チーム医療のキーパーソンは患者それぞれで異なり、特定行為はリソースとして活用されるものと考えられるようになりました。

今後も、患者さんが選択する療養環境において、皆様から活用される皮膚・排泄ケア認定看護師として支援を続けていきたいと思っております。



岩手県立中部病院
救急看護認定看護師

中村 舞

私が特定行為研修を学ぶまでの経緯として、救急看護認定看護師を目指したことから始まります。

救急外来に搬送された重症外傷患者に対応した際、どういふことを観察し、処置は何か優先されるのかわからず、不安な気持ちで対応しました。その不安を払拭すべく、県内外問わず様々な救急関連の研修へ参加し自己研鑽を重ねました。“今までの学びを活かして救急外来看護に携わり、スタッフと共に看護の質を高めていきたい”という思いから、認定看護師教育課程を受講しました。現在は、OJTや臨床推論・フィジカルアセスメントの指導に加え、院内の心肺蘇生法講習会の開催や、緊急コールの検証・カンファレンス・研修を通して急変対応指導や看護記録の指導も行っています。

一方で、救急外来では多くの患者が不安や苦痛を抱えながら診察を待っている状況にジレンマを感じていました。患者の苦痛な時間の短縮に貢献したいと考え、特定行為研修を受講したいと考えました。

研修の過程では、実習を自施設で行っていたため、特定行為に対する医師の理解はスムーズでした。医師が医療面接や身体診察を行う傍ら、自分が動脈血採血を実施し、結果を報告することで、適時に治療を開始できるようになりました。また、人工呼吸器管理中の患者に対し、挿管チューブが抜けかけたときにタイムリーに位置調整することで、今までは医師を待つしかなかった状況でも、患者の呼吸状態の悪化を防ぎ、事故抜管の予防に繋がっていると感じています。

今後も自分の役割に責任を持ち、患者・家族が安心して療養生活を送れるように関わっていきたく思います。



いわての ナースセンター 76号 だより

岩手県ナースセンターはあなたを応援!!

保健師
助産師



看護師
准看護師

令和3年度岩手県ナースセンター 登録・相談・就業状況報告

令和3年4月1日～令和4年3月31日

登録状況

(単位:人)

区分	登録求職数	登録求人数
保健師	70	51
助産師	15	14
看護師	812	2,408
准看護師	114	29
計	1,011	2,502

*令和3年度中央統計より

相談状況

(単位:件)

区分	求職相談	求人相談
保健師	305	161
助産師	68	39
看護師	6,807	3,210
准看護師	568	112
学生他	34	
計	7,782	3,522

*岩手県ナースセンターにおける相談状況

就業状況

(単位:人)

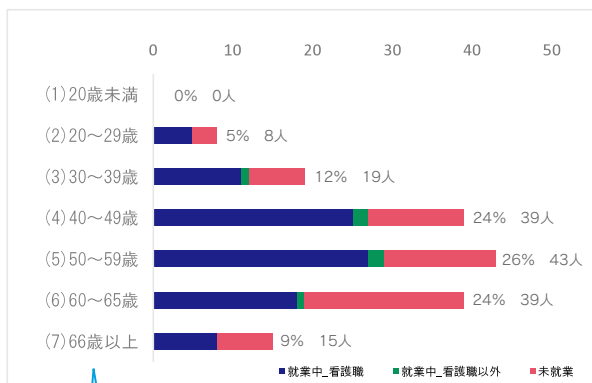
区分	病院			診療所			その他				合計
	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	計	常勤	非常勤	その他	計	
保健師	0	0	0	0	0	0	0	12	0	12	12
助産師	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2
看護師	15	7	22	10	3	13	5	36	127	168	203
准看護師	3	0	3	1	0	1	0	2	8	10	14
計	18	7	25	11	3	14	5	52	135	192	231

*岩手県ナースセンターの紹介による就業者数

求職登録者の就業状況調査結果

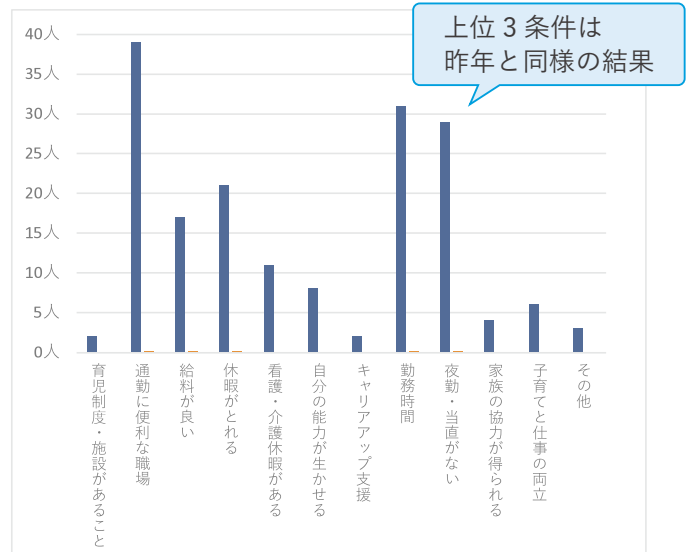
対象: 令和3年11月1日現在 岩手県に在住し、岩手県ナースセンターに登録中の看護職 305名
回収163名 回収率53%

求職登録者の年齢構成



60歳以上の登録者が増加

未就業者の就業条件(複数回答)



上位3条件は
昨年と同様の結果

*就業中の方の就業場所は前年までは病院、診療所が多かったが、今回の調査では県・市町村へ就業している人が最も多かった。

令和3年度訪問看護基礎研修受講 一年後の今

水沢病院訪問看護ステーション「きらり」

齋藤 真理子

私が訪問看護基礎研修を受講したきっかけは、外来勤務時に訪問診療に同行した際、入院中、口数が少なく硬い表情の方が、在宅で生き活きた表情で生活されている姿を見て訪問看護に興味を持つようになりました。また、病院勤務では、日々の業務に追われゆっくり患者と向き合うことができず、「もっとゆっくり一人ひとりの患者に関わりたい」と思いました。しかし、在宅看護に対する知識不足もあり、不安も大きかったため研修を受講しました。先生方の講義を受け、不安より訪問看護の魅力を知ることができ、より一層、訪問看護師として病気だけではなく患者一人ひとりの生活に寄り添ってケアをしたいという思いが強くなりました。

受講から1年が経ち、希望が叶い4月から訪問看護ステーションで働いています。日々の訪問看護は大変ですが、利用者を支えるチームの一人として関わっています。訪問看護師となり、「その人らしい暮らし」を支える視点を持ち働きたいと思います。訪問看護基礎研修を受講したことで今、新たな出会いがありました。ありがとうございました。



訪問看護ステーション和が家～なごやか～

管理者 三浦 茉衣

私は、令和3年4月より訪問看護に携わるようになりましたが、訪問看護は全くの未経験ということもあり、自らこの研修を志願し受講させていただきました。この研修では訪問看護の基礎から制度まで詳しく学ぶことが出来ました。その中でも印象的だったのは、訪問看護は病院での看護とは違い、「利用者の在宅での生活が基盤にある」ということでした。利用者にとって住み慣れた環境である自宅で生活することが一番の目標であり、私たち訪問看護師はそれが継続できるようお手伝いをするということです。また、その生活の中に疾患や障害が存在しているということが病院での看護との違いで、最初こそ戸惑いにはありましたが、1年経った今では利用者が自宅で生活する意義を考えられるようになってきたと思います。また、利用者や家族から「あなたが来るのを楽しみにしていた」「あなたの顔を見ると安心する」と言ってもらえることも増えてきました。これからも自宅で安心して過ごしてもらうため、一人ひとりにしっかり向き合い支援出来る、そして安心感のある訪問看護師であるために努力してきたいと思います。



新型コロナウイルス感染症に係る在宅療養者支援事業

新型コロナウイルス感染症に罹患し自宅で療養する方へ健康観察等を行うため、「いわて健康観察サポートセンター」が2月4日に開設し、看護職員39名の方が就業しました。(4月25日より外部委託へ移行)

就業者の声

電話での健康観察は、対面での観察と異なり聞き取りで行うため、緊張や不安がありました。在宅療養者の声に耳を傾け、症状の観察や変化を聞き取り判断する難しさがあります。的確な判断が医療機関への橋渡しとなったケースや生活環境の変化に伴う不安や相談など、思いに寄り添い傾聴したケースなど多岐にわたりました。対応に難しいケースがあるときは、他職種と連携を取り支援してきました。在宅療養者からは、「毎日の電話は、丁寧に話を聞いて下さり心の支えになりました。安心して療養が続けられました。ほんとうにありがとう」と感謝の言葉がありました。



ハローワークで「看護のお仕事相談」をしている看護就業支援専門員の紹介

岩手県ナースセンターでは、ハローワークとの連携による「看護のおしごと相談」を行っています。お気軽にご利用ください。

- ハローワーク久慈・花巻・釜石
大船渡・ジョブカフェくら（北上）……………第1・3木曜日
- ハローワーク水沢・一関……………第2・4水曜日
- ハローワーク二戸・宮古・盛岡……………第2・4木曜日

10:00～12:00/13:00～15:00
開設しております

花巻 神子沢 愛利子

多様な働き方の希望に沿えるよう相談者の話を伺い、参考になる情報を丁寧に提供したいと思えます。



宮古 中里 礼子

7年目、きめ細やかな対応に努め、相談者の希望に沿った支援をしてまいります。



水沢 神田 香代子（新任）

求職・求人情報を示し、お互いマッチングするための一助となりますよう努力します。



大船渡 鈴木 靖子

看護職と求人施設の橋渡し役として、力になりたいと思っています。お気軽にご利用ください。



釜石 小国 紀子（新任）

相談者の希望する働き方とキャリアを活かせるように丁寧に支援を行いたいと思えます。よろしくお願ひいたします。



二戸 戸田 ミツ子

看護職の職場環境は様々ですが微力ながら皆さん一人ひとりを支援したいと思えます。



一関 加藤 今子

今年度も一関の担当支援員を努めます。月2回ですが皆様の意向に沿った対応を心がけていきます。



久慈 吉田 利留子（新任）

看護のおしごと相談のお手伝いをさせていただきます。何でも気軽に相談してください。



北上 島田 桂子

来所者の希望や思いを受け止め、新たな一歩を踏み出すお手伝いが出来たらと思えます。



盛岡 紺野 美香子

皆さまの声を聴き、少しでも就業に繋がるようしていきたいと思っています。



今後のナースセンター事業

- ① 中学生・高校生対象「看護の出前授業」 県内の中学校・高等学校募集中
- ② 進学セミナー：7月26日（宮古会場）、8月1日（盛岡会場）、8月5日（北上会場）
- ③ 看護職員復職研修：9月21日から（予定）

職員紹介

教育部 目時 のり

5月から教育部で勤務しております。人との出会いを大切に、看護職員の皆様のモチベーションが高まるような研修となるよう努力して参ります。どうぞよろしくお願い致します。



教育部から

① 令和4年度岩手県看護研究学会

テーマ	看護の力を発揮し人々を健康に
開催日	令和4年10月29日(土)
開催会場	岩手県民会館
内容	特別講演 「その人らしさを大切にする看護とは ～やさしさの本質～」 北海道医療大学 名誉教授 石垣 靖子氏 研究発表・実践報告 口演・示説
参加申込	1) 施設または個人あてに、開催案内を7月下旬に送付します。 2) お申し込みは施設ごとに取りまとめ、参加費をお振込みください。 3) 参加申込書に必要事項を記入のうえ、払込受領証の写しを必ず添付し、郵送にてお申込み下さい。 ※演題発表者も参加申し込みが必要です。 4) 参加申込締め切り：令和4年8月31日(水) 必着
参加費	看護協会員：3,000円(当日参加：3,500円) 非会員：5,000円(当日参加：5,500円) 看護学生：1,000円

② 9/8(木)開催の「保健師スキルアップ研修」一部変更のお知らせ (教育計画冊子11ページ)

森永先生の講義のあと、昨年二戸で行われた「困難事例課題解決」の一事例を参加者全員で検討するという内容になりますので、研修形態をハイブリッド型(オンライン+参集)に変更します。来館できる方は、申込用紙の備考欄に“研修センター”と記載しお申込みください。

看護協会入会のご案内 令和4年度入会受付中!

※有効期間は、令和4年4月1日～令和5年3月31日までの1年間です。

継続・再加入

■日本看護協会年会費 5,000円
■岩手県看護協会年会費 10,000円
合計 **15,000円**

新規加入

■日本看護協会年会費 5,000円
■岩手県看護協会年会費 10,000円
■岩手県看護協会入会金 20,000円
(初回のみ)
合計 **35,000円**

他県転入者

令和4年度に都道府県看護協会に既に会費を納入されてきた方で、岩手県看護協会に初めて入会する方
■岩手県看護協会年会費 免除されます
■岩手県看護協会入会金 20,000円
合計 **20,000円**



【問合せ】公益社団法人岩手県看護協会 事務局 ☎ 019-662-8213 まで

岩手県看護協会のホームページをご存知ですか？

ホットな情報を掲載しております。どうぞ開けてみて下さい。

<http://www.iwate-kango.or.jp>

編集後記

日に日に暑さが増し、今年も厳しい季節が予想されます。熱中症に気を付けながら、引き続き感染予防にも努めていきましょう。表紙にあるQRコードのアンケートにご協力をお願いします!

